

令和5年度東京都立日比谷高等学校学校運営連絡協議会実施報告書

I 組織

- (1) 東京都立日比谷高等学校 学校運営連絡協議会
開催方法：対面式会議
- (2) 事務局の構成
主幹教諭（教務主任兼務）＝事務局長、主任教諭1名、広報担当教諭1名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路指導部主任
グローバル事業部主任、教諭（書記）、広報担当教諭 計9名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表1名、地域代表1名、近隣中学校代表1名、関係機関代表3名、
学識経験者2名、民間企業1名 計9名

II 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 第1回

日時：令和5年5月26日（金）午後3時30分～5時00分

場所：本校会議室

司会：副校長 青木 正信

記録：事務局員 矢島 隆之

<議 事>

- 1 校長挨拶 校 長 梅原 章司 15:30
協議委員委嘱及び評価委員委嘱
- 2 委員紹介（別紙「委員一覧」順に自己紹介をお願いします） 15:35
- 3 防災教育推進委員会及び宿泊防災訓練実施要領 副校長 青木 正信 15:40
【意見交換】 15:45～16:00
- 4 学校の教育活動の現状について
令和5年度学校経営計画を踏まえて 校 長 梅原 章司 16:00
- 5 令和4年度学校運営連絡協議会（報告） 事務局 戸田 勝昭 16:10
- 6 令和5年度自律経営推進予算について 経営企画室長 山口 昌士 16:13
- 7 学校概況の報告及び協議（各3～4分） 16:16～16:30
 - ① 教務部 教務部主任 米村 潤史
 - ② 生活指導部 生活指導部主任 小出 峰仁
 - ③ 進路指導部 進路指導部主任 滝澤 美恵
 - ④ グローバル事業の取組 グローバル事業部主任 平山 大
- 【意見交換】 16:30～17:00
- 【配布資料】
 - ① 学校運営連絡協議会設置要綱及び委員一覧
 - ② 防災教育推進委員会設置要綱及び委員一覧
 - ③ 令和5年度防災訓練実施要項
 - ④ 第1回避難訓練
 - ⑤ 令和5年度都立学校等で実施する地域と連携した防災訓練及び避難所設営・運営訓練
 - ⑥ 令和4年度第3回学校運営連絡協議会議事録
 - ⑦ 令和4年度学校運営連絡協議会実施報告書
 - ⑧ 生徒保護者用 令和4年度学校評価アンケート集計結果
 - ⑨ 生徒保護者用 令和4年度学校評価アンケート主な意見に対する回答
 - ⑩ 令和4年度学校経営報告
 - ⑪ 令和5年度学校経営計画
 - ⑫ 令和5年度分掌組織目標
 - ⑬ 令和5年度自律経営推進予算
 - ⑭ 最近5年間の入学者選抜倍率等の推移
 - ⑮ 令和5年度年間行事計画
 - ⑯ 令和5年度体育大会
 - ⑰ 令和5年度合唱祭
 - ⑱ 令和5年度入試大学別合格者（延べ数）
 - ⑲ 令和5年度進路指導計画等
 - ⑳ 令和5年度塾対象説明会
 - ㉑ 令和5年度グローバル事業部SSH年間計画
 - ㉒ 令和5年度グローバル事業部GE-NET20年間計画

(2) 第2回

日 時：令和5年11月2日(木) 午後3時30分～5時00分

場 所：本校会議室

開催方法：対面式会議

司 会：進路指導部主任 滝澤 美恵

記 録：事務局員 矢島 隆之

<議 事>

- | | | | | | |
|---|--------------------|---------|------------|-------|-------|
| 1 | 校長挨拶 | (5分) | 校 長 梅原 章司 | | 15:30 |
| 2 | 防災教育推進委員会 | (15分) | 生活指導部主任 | 小出 峰仁 | 15:35 |
| 3 | 学校概況の報告及び協議 | (各3～4分) | | | 15:50 |
| ① | 学校施設・自律経営推進予算等について | | 経営企画室長 | 山口 昌士 | |
| ② | 教務部 | | 進路指導部主任 | 滝澤 美恵 | |
| | ・令和6年度入学者選抜について | | | | |
| ③ | 生活指導部 | | 生活指導部主任 | 小出 峰仁 | |
| | ・行事・生徒会について | | | | |
| | ・生活指導について | | | | |
| ④ | 進路指導部 | | 進路指導部主任 | 滝澤 美恵 | |
| | ・大学入学共通テストの出願について | | | | |
| | ・3年生の動向 | | | | |
| ⑤ | グローバル事業の取り組み | | グローバル事業部主任 | 平山 大 | |
| 4 | 意見交換 | (30分) | | | 16:05 |
| 5 | 令和5年度学校評価アンケートについて | (25分) | | | 16:35 |
| | アンケート内容と日程の検討 | | 進路指導部主任 | 滝澤 美恵 | |

【配布資料】

- ① 9月1日の避難訓練
- ② 10月2日の避難訓練
- ③ 地域と連携した避難訓練及び避難所設営・運営訓練
- ④ 令和5年度東京都立高等学校入学者選抜実施要項・同細目
- ⑤ 令和5年度分掌組織目標中間総括
- ⑥ 令和5年度星陵祭のお知らせ
- ⑦ 令和4年度卒業生 学部別進学者数
- ⑧ 令和5年度大学別進学者数
- ⑨ 令和5年度SSH事業報告
- ⑩ 令和5年度GET20指定校事業実践実例報告
- ⑪ 令和5年度学校評価アンケート

(3) 第3回

日 時：令和5年3月1日(金) 午後3時30分から午後5時00分

場 所：本校 会議室

開催方法：対面式会議

司 会：副校長 青木 正信

記 録：事務局員 矢島 隆之

<議 事>

- | | | | | | |
|---|-------------------------|------------|-----------|--|-----------|
| 1 | 校長挨拶 | (5分) | 校 長 梅原 章司 | | 3:30～3:35 |
| 2 | 報告 本校の現状と取り組み | (15分・各3分) | | | 3:35～3:50 |
| ① | 個人情報の適切な管理 | 副校長 | 青木 正信 | | |
| | ・PTA会報178号及び180号について | | | | |
| ② | 教務部 | 教務主任 | 米村 潤史 | | |
| | ・令和6年度入学者選抜について | | | | |
| ③ | 生活指導部 | 生活指導主任 | 小出 峰仁 | | |
| | ・在校生近況報告 | | | | |
| ④ | 進路指導部 | 進路指導主任 | 滝澤 美恵 | | |
| | ・令和5年度大学入試結果中間報告 | | | | |
| ⑤ | グローバル事業の取組 | グローバル事業部主任 | 平山 大 | | |
| | ・事業報告と来年度に向けて | | | | |
| ⑥ | 星陵セミナーについて | 第2学年主任 | 古性 晃 | | |
| 3 | 意見交換 | (30分) | | | 3:50～4:20 |
| 4 | 協議 令和5年度学校評価アンケート結果について | | | | 4:20～4:50 |
| ① | 評価委員会報告 | 評価委員会 事務局 | 戸田 勝昭 | | |

② 協議 (30分)

5 協議委員評価アンケートについて

4:50~5:00

※協議会終了後郵送にて御提出ください。

6 事務連絡

【配布資料】

- ① 第2回学校運営連絡協議会記録
- ② 令和6年度入学者選抜状況
- ③ 令和6年度年間行事予定
- ④ 生活指導部関連資料
- ⑤ 進路指導部関連資料
- ⑥ グローバル事業関連資料
- ⑦ 令和5年度星陵セミナー講師・講義内容一覧表
- ⑧ 評価委員会報告・学校評価アンケート考察
- ⑨ 令和5年度学校評価アンケート集計結果・自由記述
- ⑩ 協議委員評価アンケート
- ⑪ PTA会報第180号

(4) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和5年10月12日(木)

内部委員 2名、協議委員 1名

学校評価案アンケート「生徒」「保護者」「教職員」「自由記述」

今年度もオンラインによるClassiを用いた学校評価アンケートの実施する

第2回 令和6年 2月 9日(金)

内部委員 2名、協議委員 2名

学校評価案アンケート「集計結果、分析・検証結果」(案)の質疑、協議、提言

Ⅲ 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点及び主な評価項目

- ・学校経営 ・学校生活全般 ・学習指導 ・進路指導 ・生活指導
- ・学校行事 ・部活動 ・グローバル事業 ・防災教育 ・読書指導
- ・学習時間 ・ライフワーク・バランス

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・オンラインにより実施

・11月 全校生徒 961名 保護者全員 961名 教職員 66名

・回収率 生徒926名(96.3%) 保護者807名(83.9%) 教職員66名(100%)

(3) 評価結果の概要

・90%の生徒が入学して良かったと感じ、保護者の97%が満足感を得ている。

・アンケートの回収率は、生徒891名(93.1%) 保護者839名(78.1%) 教職員66名(100%)であった。本校への関心は、非常に高く、三者(生徒・保護者・教職員)から評価されていると受け止めている。

・保護者、生徒、教員とも「全体的に教育内容」を高く評価しており、保護者、生徒の学校への信頼が非常に高いことがうかがえる。

(4) 評価結果の考察

①学校経営・学校生活全般

・生徒の88%(2ポイント減)、保護者の96%(1ポイント減)、教職員の51%(24ポイント減)の回答をしている。生徒88%・保護者96%の肯定割合であり評価は非常に高い。教職員の回答の、「わからない」が19%である。教職員面接、会議等を開催し、早急に対応したい。

・教職員の生徒への相談体制については、生徒の肯定的な回答は88%(2ポイント減少)、保護者は81%(3ポイント減少)。教職員83%(8ポイント減少)。三者とも80%を超えるので、相談体制は適切に実施されているとほぼ考えている。

・「いじめ防止」の取組については、肯定的な回答が、生徒63%(4ポイント減少)、保護者52%(4ポイント減少) 教職員77%(8ポイント減少)であった。昨年度と同様に、保護者の45%(3ポイント増加)、生徒の23%(2ポイント増加)が「わからない」と回答している。いじめ防止対策問題は非常に重要なので、学校の取組みを生徒・保護者に理解してもらう努力を更に続ける必要がある。

・自由記述では、学校生活、学習、学校行事への要望が第一に挙げられた。今年度は、地球温暖化の影響もあり、特に空調の早期使用への要望が強く挙げられた。例年同様に、施設(自習室)と購買(品数)に関する要望も多数寄せられた。

②学習指導・進路指導

- ・学習指導の「生徒の個性を伸ばし進路希望実現に結びつくような学習指導が行われていると思う」については、生徒80%（3ポイント減少）、保護者80%（2ポイント減少）、教職員の74%（3ポイント減少）であった。三者とも70%を超えた。本校の様々な取り組みが一定程度評価されたものと考えている。さらに、生徒・保護者から一層の信頼を得られるように授業改善に努め、学習指導の向上に励んでいく。
- ・生徒は「45分7時間授業」、保護者は「土曜講習や長期休業中の講習」を高く評価している。
- ・保護者・教職員の三者とも昨年同様に「シラバス」と「3学年の選択科目」の評価が高くない。「シラバス」と「3学年の選択科目」は、改善並びに創意工夫が求められている。
- ・進路指導の「学校は生徒や保護者が必要としている進路情報を十分に提供していると思う」については、肯定的な回答が、生徒83%（4ポイント減少）、保護者83%（1ポイント減少）、教職員69%（19ポイント減少）と一定程度評価を得ている。生徒、保護者とも80%を超えているので、本校の進路指導への評価は非常に高いと受け止めている。
- ・自由記述では、進路指導の項目にて、「経験豊富な先生に、現実だけを見ず最後まで伸び続ける現役生の可能性を信じて励ましてくださった。また、様々な創意工夫した授業を積極的に実施し、他の都立高校よりも学びに対する学校側の熱意を感じた」等、特に令和5年度卒業生や保護者からは感謝の声が多かった。昨年同様に、授業や講習、進路指導、三者面談に関しては、評価して頂ける声が多多くみられた。この声が示すように、例年以上の進学実績を残せたと受け止めている。また、例年同様に、東大、京大、一橋大、東工大、医学部医学科以外の進路情報及び下位層の生徒に対する学習指導・進路指導の充実を求める意見も多かった。

③生活指導・学校行事・部活動

- ・「生活指導の方針が明確で、それに基づいた指導が行われていると思う」への回答は、生徒75%（2ポイント減少）、保護者80%（3ポイント増加）、教職員44%（12ポイント減少）と、生徒、保護者からは、評価を得ている。一方、分らないという回答が、生徒8%（1ポイント増加）、保護者16%（2ポイント減少）と一定程度あるので、早急に対策を考え、更に努力する必要がある。
- ・日比谷高校の生活指導で評価できる項目は、「生徒の自主性や自律性を育てる指導」の外は、三者ともに半数を超えない厳しい回答結果となった。（昨年度同様）全ての項目で早急の対応を図ることが急務であると考えます。
- ・「学校行事は生徒の個性を伸ばし豊かな人間性を育てていると思う」については、コロナ対策により一旦途切れてしまった学校行事の運営を、生徒、教職員等の創意工夫の下に無事すべて実施することができた。この結果、肯定的な回答が、生徒89%（昨年同様）、保護者97%（2ポイント増加）、教職員90%（7ポイント減少）であった。肯定割合は、三者ともほぼ85%を超えるので高く評価されていると考える。
- ・「部活動は教員の適切な指導の下で生徒の自発的・自立的な活動が展開されていると思う」については、生徒86%（2ポイント増加）、保護者86%（3ポイント増加）、教職員53%（7ポイント減少）と肯定的な評価である。コロナが落ち着いたこともあり活動時間が増加したことが大きい。生徒・保護者とも貴重な時間であると受け止め、高評価につながったと考えている。
- ・自由記述では、例年提出されている意見である、生活指導を「もっと厳しい指導を求める」と「生徒の自主性を重んじた指導を」との意見が寄せられることが少なかった。また、例年同様に「校舎内の清掃の徹底を求める」との意見も多かった。
- ・2年生の保護者からは、「学問だけでは学べないことを行事や部活動から学んでいると思います。個人と団体での動き方、考え方を養うことができるとも良い環境だと思います。学校として力を入れていることが生徒にもうまく伝わっているのだと感じます。」、また3年生の保護者からも、「コロナやインフルエンザ罹患率も心配されるなか、日比谷三大学校行事を大成功に納めた子供達、また、それを見守りくださった先生方に、厚く御礼申し上げます。今でも思い出すと様々なシーンが浮かび目頭が熱くなります。見学させて頂き、本当にありがとうございました。久しぶりに感動と興奮を味わえました。」という肯定的なご意見をいただけた。
- ・部活動については、部活動の実施期間は、昨年度に比べて感染対策が改善されつつある中での活動ではあったが、生徒・保護者・教員の三者がともに貴重な時間を過ごせたとの理解を示したコメントが多かった。しかし、今年度も顧問の部活動に対しての関わり方の違いに、不満を持っている生徒、保護者が一部に見受けられた。

④グローバル事業・防災教育・読書指導・その他

- ・「スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な回答が、生徒69%（6ポイント減少）、保護者79%（昨年同様）、教職員74%（3ポイント減少）と三者ともほぼ70%代の肯定的な評価である。本評価結果に基づ

いて、SSHの取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると考えられる。

- ・「東京 GE-NET20 の取り組みは生徒の知的探究心の向上に役立っていると思う」については、肯定的な評価は、肯定的な評価は、生徒61%（2ポイント減少）、保護者69%（3ポイント増加）、教職員80%（1ポイント増加）であった。保護者の28%（4ポイント減少）、生徒の28%（昨年同様）が「わからない」と回答している。年度当初に、グローバル委員会に所属しないと「省庁・企業・大学訪問研修」に参加できないことが影響していると考えられる。
- ・「防災訓練、防災講話などを通して自分と他人の命を守る態度の育成を図っていると思う（防災教育）」については、肯定的な回答は、生徒72%（7ポイント増加）、保護者62%（5ポイント増加）、教職員69%（6ポイント増加）であった。防災教育は、自分と関わりのある人の命を守る悉皆訓練の場でもある。生徒、教職員の肯定的な回答が80%になるよう実施方法や内容などをさらに工夫する必要はある。

⑤学習時間・塾や予備校に関して（生徒のみ）

- ・学習時間は、学年の進行に伴って増えている。
 - 3年：3時間以上は76%（昨年69%、一昨年72%）
 - 2年：3時間以上は26%（昨年21%、一昨年22%）
 - 1時間～3時間は60%（昨年70%、一昨年64%）
 - 1年：2時間未満は60%（昨年59%、一昨年50%）
 - 2時間～2時間は35%（昨年35%、一昨年36%）
- ・通常時に塾や予備校に通っていない生徒の割合は、
 - 3年：4時間以上は86%（昨年82%、一昨年81%）
 - 2年：4時間以上は47%（昨年50%、一昨年45%）
 - 1年：4時間以上は32%（昨年32%、一昨年42%）

⑥ライフ・ワーク・バランス（保護者・教職員のみ）

- ・「教職員は、自ら計画的・効率的に仕事を進め、ライフ・ワーク・バランスの実現を図っているか」については、肯定的な回答は、あまりにも少なすぎる。保護者53%（5ポイント増加）、教職員44%（20ポイント増加）である。より良い教育の実現のためにも、教職員のライフ・ワーク・バランスの改善が急務である。

⑦自由意見

- ・自由意見は966件（昨年度920件、一昨年度1,030件）であった。総件数は、昨年度に比べて42件増加した。記載量も昨年度より多かった。
- ・自由意見については、進学実績の向上に伴って建設的な意見が多かった。生徒、保護者の学校に対する期待と重く受け止めている。

IV 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校評価を含む）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパーサイエンスハイスクールとしての具体的な取組や日常の教育活動について、保護者や地域及び学校関係者からの理解を一定程度深めることができたことと受け止めている。特に理数探究基礎・理数探究を含めた探究活動及び研究とグローバルリーダーの育成に関して、教育改革に伴う学習活動の開発・改善の取組を理解いただいた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・進学指導重点校、東京 GE-NET20 の指定校及びスーパーサイエンスハイスクールとしての特色を伸長するために、組織的、計画的に授業の改善や教育活動の改善をさらに図り、生徒・保護者・都民の期待に応える。特にグローバル社会のなかで真にリーダーとなる人材育成について、さらなる課題をいただいた。

V 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・企画調整会議及び教科主任会議を充実させて、学校改革を組織的に推進する。
- ・主任を中心に、学校経営計画に基づく各分掌のマネジメントサイクルを整備する。

(2) 学習指導

- ・教科チームとして授業内容・授業進度・定期考査問題の共通化の精度をより一層高め、集団の学びと個の学びのバランスを構築し、日比谷の教科マネジメントを確立する。

(3) 特別活動

- ・行事準備時間と部活動時間との割り振りを適切に行い、効果的・効率的な運営を行い、部活動の適正実施により、学習や行事との両立を図り、質の高い学校行事・部活動を実現する。

(4) 生活指導

- ・規律正しい学校生活をおくることにより、規範意識をさらに高め、服装や身だしなみにも注意して、学校行事・部活動と学習との両立を図る。

(5) 進路指導

- ・実力テストや外部模試に基づく組織的な面談や相談、生徒や保護者への計画的な進路情報の提供を通して進路指導を行うとともに進路指導室を有効に活用する。
- ・進学指導検討会等で、生徒の成績データベースを基に具体的な指導内容や指導計画を検討する等、学校全体の組織的な指導により、生徒の進路希望を実現する。

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラーを活用し、生徒の心のケアなど、教育相談機能の充実を図る。
- ・関係機関と連携して、避難訓練・避難所設営・防災講話などの防災教育活動の充実を図る。

VI 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校がよくなったと答えた外部委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
4	4	1	0	0	0	0

(3) 協議委員の評価アンケート・コメント

- ・新型コロナウイルスの蔓延が下火となり、高校生の皆さんの学校生活が平常に復帰したことを心からお慶び申し上げます。研究成果発表会の機会にお会いした生徒の皆さんは、以前にも増して、明快に自分の意見を述べる方が多く、リモートの時間が決して無駄ではなかったと感じさせるものがありました。理数探究を選択する生徒数が減ったように伺っておりましたが、昔に比べて発表するテーマが、より社会性のあるものを取り上げているものが目につきました。教科の内容を超えて、生徒自身が思ったことを臆せず研究課題として取り組んでいるのには、大いに頼もしく感じました。アンケートの内容も、客観性はともかくとして、自由に思っていることを書いているものが多く見受けられました。意見に対するフィードバックがあり、対話があれば、高校生が獲得すべき重要な資質であるコミュニケーション力を養うのに良いきっかけになればと思いましたが、学校運営連絡協議会の実施に当たっては、校長先生をはじめとして多大なるエネルギーが注がれていると思いますが、組織の年間活動を客観的に振り替える場として、貴重なものとして、大切にしていただければと思います。
- ・学校評価アンケートを今年度・昨年度の結果で見ると、概ね肯定的な評価が多い中で、「進路指導」「教職員のワークライフバランス」について否定的な意見が多い。昨年度も同様で早急の対策が望まれる。また、グローバル事業について、特に、東京 GE-NET20 の方で「わからない」が生徒・保護者で多く、周知のための工夫が肝要か……。

本協議会の時間は90分で限られており、説明が学校運営全般となるので、討議は短い時間とならざるを得ない。当面する課題に絞って討議を進める方、が良いのではないかと思います。

- ・コロナが明けて、コロナ前に戻すべき点を、新しく考えていかなければならない点があるように思います。大変だと思いますが、良い方向に向けて頑張っていただければと思います。
- ・校外行事(勝山臨海合宿・夏山キャンプ・志賀高原熊の湯スキー教室)について、4年にわたるコロナ禍明けで順調に再開されたことは喜ばしく思いますが、この間の環境変化に上手く対応できているか、若手OB・OG達に戸惑いもあるやに聞きます。学校側の強いサポートが肝要と考えます。
- ・すぐに対応可能な日常生活に関する問題については、適切かつ迅速な対応が行われているように感じました。推薦合格者のその後の調査や、日比谷OB・OGによるSSH等の学習指導案も出されておりましたが、こういった事は、一年で結果が出るものではありません。しかしながら、日比谷高校のさらなる成長のために、もっと話し合われるべき提案だと思しますので、今後に期待します。
- ・学校運営連絡協議会には、一度しか出席できずに申し訳ありません。郵送して頂いた資料を見ますと生徒と先生の意識が高く、素晴らしい取り組みと成果等を目の当たりにしましたので、希望?も込めて「多少そう思う」にさせていただきました。
- ・地域の誇りであり、中学生にとって、目指す高校生像として、日比谷高校が位置付いていることを強く感じる。一步一步確実に前進していると感じており、貴校の取組の一部でも、中学校で参考にし、形にしていきたい。

VII 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・コロナ禍が明けつつある中、開催形態を「対面式」にした。職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加の機会は設けなかったが、学校運営連絡協議会で出た意見は分掌会にて検討し、改善事項を企画調整会議に挙げていく方式をとった。